

廃校となった施設の現状は

旧伊良湖小学校の利活用は今年度中に方向性を決める



長神 隆士
自民クラブ

豪雨災害に備えた取り組みについて

- 問** 大規模災害時には医療救護所が開設されるが、医療資材などの備えはどのようになっているのか。
- 答** 医療救護所は、地震避難所の小中学校8か所に設置する。医師用の災害用救急医療セットを配備し、医療現場として対応できるように備えている。

廃校施設の有効活用について

- 問** 廃校となった施設の現状と課題は。
- 答** 旧堀切小学校は、跡地に津波避難マウンドが建設された。旧伊良湖小学校の利活用は今年度中に方向性を決めていく。旧野田中学校は「ふるさと教育の拠点」として、来年10月の開設に向け準備している。今後、赤羽根中学校と統合する泉中学校と伊良湖岬小学校が新設校へ移った後の旧和地小学校の利活用の検討が課題である。

- 問** 泉中学校と旧和地小学校の利活用は、公共施設適正化計画に基づいて検討していくのか。
- 答** 公共施設適正化計画に基づき、学校全体配置計画を、新たに学校未来創造計画として見直している。今年度中の策定を目指し、その中に廃校利用の方針を盛り込んでいく。
- 問** 子どもたちが集う校区の拠点であった学校施設が廃校になるのは、地域にとっても寂しい。今後、廃校施設は有効活用していくのか。
- 答** 廃校イコール撤去ではなく、施設の有効活用を検討していく中で、地域との協議も重ねながら、廃校が地域の活力を奪うことのないように配慮していく。



一般質問

- P 8 辻 史子 災害時に有効な乳児用液体ミルクについて
子どもの命を守る防犯・防災対策について
SDGs（持続可能な開発目標）の推進について
- P 9 長神 隆士 豪雨災害に備えた取り組みについて
廃校施設の有効活用について
- P 10 仲谷 政弘 スクールバスとコミュニティバスの運営状況と今後の取り組みについて
- P 11 彦坂 久伸 家庭系ごみの有料化について
教職員の多忙化解消について
- P 10 古川 美栄 農業基盤整備の状況と今後について
- P 12 岡本 禎稔 本市の農業における外国人技能実習制度の活用について
- P 13 小川 貴夫 観光まちづくりの推進について
「育てる漁業」の取り組みについて
- P 12 河邊 正男 心豊かな平和田原市を
人口減少とまちづくり
- P 14 杉浦 文平 市長公約の達成と今後の進退について